

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第3回枚方市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和5年3月31日(金)14時～15時30分
開 催 場 所	枚方市役所 別館 4階 第2委員会室
出 席 者	会 長：高見委員、副会長：木村委員 委 員：伊原委員、草部委員、関委員、田川委員、谷口委員、西邨委員、 浜田委員、村島委員、阪本委員
欠 席 者	中島委員
案 件 名	1. 開 会 2. 中間評価のスケジュールについて 3. 中間評価報告書(案)について 4. 答 申 5. その他
提出された資料等の 名 称	●資料1 中間評価のスケジュールについて ●資料2 中間評価報告書(案)について ○参考資料1 枚方市運動やスポーツに関するアンケート調査報告書 ○参考資料2 枚方市スポーツ推進審議会委員名簿 ○参考資料3 枚方市スポーツ推進審議会条例(平成28年3月14日条例第3号) ○参考資料4 枚方市情報公開条例(抜粋) ○参考資料5 枚方市審議会の会議の公開等に関する規程 ○参考資料6 枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取扱い要領 ○参考資料7 枚方市スポーツ推進計画概要版 ○参考資料8 スポーツ基本法抜粋
決 定 事 項	・ 会議は公開、会議録は全文筆記で作成の上、会議録の確定後に公開 することに決定 ・ 市民アンケート結果及び枚方市スポーツ推進計画の中間評価報告書(案)につ いて共有し、答申内容について決定
会議の公開、非公開 の 別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公 表の別及び非公表の 理 由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所管部署(事務局)	観光にぎわい部 スポーツ振興課

審 議 内 容

(開会 14時)

【令和4年度 第3回枚方市スポーツ推進審議会】

1. 開会

(高見会長) 定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第3回枚方市スポーツ推進審議会を始めます。

WBCが大変盛り上がりを見せました。何より私は、観客の皆さんがマスク無しで大声で応援する、コロナ前の状況に戻ったように見えたことに感激しました。ここ2～3年、コロナ、コロナで健康スポーツが停滞していました。3年間で蓄積したものを生かしポストコロナを乗り越え、市民の皆様、スポーツを行う人達にとって良い環境になっていけばよいと思います。

今日は、審議会の目標であった中間評価について、魂を入れたいので是非お願いしたいと思います。それでは、開会にあたりまして、枚方市 野田充有観光にぎわい部長よりご挨拶をいただきます。

(野田観光にぎわい部長) ただいま、ご紹介にあずかりました、わたくし観光にぎわい部の野田よりご挨拶を申し上げます。本日は、ご多用の中、令和4年度第3回枚方市スポーツ推進審議会にご出席いただき、ありがとうございます。また、平素より、本市のスポーツ行政の推進にあたりご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、第2回審議会で、高見会長から「にわかファン」の話がありましたが、まさに、先日大いに盛り上がったWBCでも、「にわかファン」になられた方が多かったのではないのでしょうか。改めて、スポーツの力というものを感じました。そして、私がもう一点思ったことは、優勝と合わせて、讃えられたのが日本の侍魂です。礼に始まり、礼に終わる、そういった日本の美德・礼儀正しさがさまざまなニュースで取り上げられました。それを観て、同じ日本人として、誇らしくなりました。本市においては、枚方市をホームとするFCティアモ枚方・パナソニックパンサーズの2チームあり、パナソニックパンサーズは、日本一をかけて戦うファイナルステージへ進出が決定しました。2チームの活躍は、市民のシビックプライドの醸成につながると思います。

さて、本日の枚方市スポーツ推進審議会につきましては、第2回でお示ししました中間評価報告書の骨子案をもとに、中間評価報告書(案)を作成しましたので、委員の皆様より忌憚のないご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(高見会長) 審議会の出席状況と傍聴者についての報告とあわせまして、資料の確認を事務局よりお願いします。

(事務局) 本日の出席委員につきまして、委員12名中、11名の方にご出席いただいております。

枚方市スポーツ推進審議会条例 第7条第2項に規定する「2分の1以上の出席」を満たしているため、この審議会の会議が成立していることをご報告いたします。なお、中島委員につきましては事前に欠席の連絡をいただいております。

《事務局職員等の紹介》

《配布資料の確認》

《会議の公開、会議録の作成及び傍聴に関する取扱いについて説明》

(高見会長)事務局から本審議会の運営について説明がありましたが、委員の皆さん、この件について何かご意見などございますでしょうか。特にございませんでしたら、本審議会の会議を「公開」して、「会議録を全文筆記で公表」するものとさせていただきます。

また、傍聴に関する手続についても、事務局提案のとおりとします。よろしくお願いいたします。事務局、傍聴者の確認をお願いいたします。

(事務局)傍聴者はございません。

2. 中間評価のスケジュールについて

(高見会長)これから、議事に入りたいと思います。「案件(2) 中間評価のスケジュールについて」です。なお、本日は2つ議題があり、説明と質疑応答は、案件ごとに行いますが、案件(3)については、中間評価報告書が3章立てとなっておりますので、1章ずつ説明の終了時に質疑応答の機会を設けますので、よろしくお願いいたします。それでは、「案件(2) 中間評価のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

《案件(2) 中間評価のスケジュールについて》説明

(谷口委員)令和5年度中に改訂版策定とスケジュールにあるが、次の審議会開催はいつ頃を予定しているのか。

(事務局)7月頃より、庁内委員会及び審議会をスタートしていく予定である。

(高見会長)現行計画は、コロナ前にたてられた計画であるため、今回見直しを図っていくということである。

3. 中間評価報告書(案)について 1章

(高見会長)続きまして、「案件(3) 中間評価報告書(案)について」の1章について事務局よりお願いします。

(事務局)

《案件(3) 中間評価報告書(案)について 1章》説明

(高見会長)それでは「案件(3) 中間評価報告書(案)について」の1章につきまして、ご意見・ご質問等がございますでしょうか。

《ご意見・ご質問等無し》

3. 中間評価報告書(案)について 2章

(高見会長)続きまして、「案件(3) 中間評価報告書(案)について」の2章について事務局よりお願いします。

(事務局)

《案件(3) 中間評価報告書(案)について 2章》説明

(谷口委員) 4 ページのスポーツ実施率の目標指標が気になる。現在の数字の倍の数値が目標値となっています。追及しても目標値に達するのは難しいのではないかと。どこまでこの目標値に近づけなければならないのか。来年度、見直しをする際に再度、目標値についても見直しを図ったほうがよいのではないかと。母数の2,000人を対象にして、1,000人程度の回答だったと思うが市民全体をどこまで反映しているのか。母集団の範囲を広めるべきではないかと。実施率を変えていくべきである。

(高見会長) 国の計画の数値に準拠していると思うが、事務局としてどうか。目標値である65%という数字をどう考えているのか。

(事務局) 目標数値は、現状の数値との乖離があり、現実的ではないというのは確かである。現行計画の期間は、基本的にはこの目標値でいくつもりだが、見直すかどうかを含め来年度の改訂版策定時に再度検討したいと思う。

(高見会長) 枚方市と同じ規模などの市町村を参考にすべきである。

(関委員) スポーツ少年団の本部長を務めている。スポーツ少年団の総会などで、市がどういう方針であるとかの情報を各部会へ伝えることが不足していたと思う。取組などをまずは知ってもらうことが大切であるが、情報が不足しているのだから、市の方針などをもっと公開していくべきである。私が審議会委員を担っていることをスポーツ少年団の方に話しても、この審議会の存在を知らない方が多い。また、今回、アンケート結果からもわかるように、スポーツ少年団の活動をもっと広めていくべきだと思った。

(高見会長) 今回の中間評価報告書について、確定後は市民向けに公開していくのか。また、スポーツ団体の方々に中間評価報告書の内容をお伝えしていくべきである。

(事務局) 中間評価報告書については、確定後にHPに掲載し公開していく。また、報告書の内容は、具体的取組を実施していく中で、エッセンスとして取り入れていくことでも浸透を図りたい。

(阪本委員) どこの層をターゲットにおいて、スポーツ実施率を増やしていくか考えることが大事である。同じ形で情報発信しても、ひっかかるかどうかは不明である。ターゲットの選定が難しい。全体をターゲットにすると実施率を上げることは難しい。スポーツをしない理由として、「忙しい」と「歳を取ったから」と回答した割合が、クロスしてくるのが60代である。まずは60代をターゲットにしてはどうか。そうすることで全体の実施率が上がっていくのではないかと。コロナにより、スポーツをしていた人が減った。新規参加者は、元々スポーツをしていない方なので、コロナになってもしていないままで変わらないのではないかと。併せて、情報の周知方法も検討していくべきである。20代・30代については、子どもと一緒にスポーツを行うのが参加しやすいのではないかと。

(高見会長) 今回のアンケート回答者は50代以上が多い。次の計画を策定していく際は、年齢ごとにターゲットというのを考えていくことが必要である。

(事務局) 全体のスポーツ実施率を上げることが重要であることは認識しているが、年代ごとにターゲットを考えていきながら取り組んでいく。

(村島委員) 全体のスポーツ実施率を上げるには、まずはやろうとしていることを1つずつしていくことが重要である。「ティアモ&パンサーズを両方とも観戦したことがない」が84%というのはとても低い数値である。中間評価報告書の10ページに、観戦したくなる条件として「市民

応援デー」や「交通アクセス」があがっている。ティアモは、年間4・5回市民応援デーを開催し、1,000人近くの方が観戦しに来てくれている。試合観戦のきっかけとして、やはりアクセスは大事である。たまゆら陸上競技場で試合をしているが、アクセスの悪さと駐車場が少ないことが課題である。駐車場が少ないので、バスで来てくださいますといっても、本数が少ない。なので、直通バスを出すなどの対策が必要である。公園においても駐車場がないことが多い。

ティアモとしては、認知度をまずはあげていかなければならない。情報の入手先としては、広報誌が6割となっているため、継続して発信していくべきである。

(高見会長)ティアモやパンサーズがこういう取組をしているということが、市民に伝わっていないのではないかと。

(村島委員)広報誌に、スポーツのページなどがあってもよいのではないかと。現状では、年間4回ほど市民応援デーを実施しているが、その募集月の広報誌しか掲載されていない。そして、掲載される場所もばらばらになっているため、市民は記事を探さないといけない。掲載月を見逃すとそのまま市民応援デーが開催されていることを知らないままである。そのため、スポーツのページなどに年間の予定などが掲載されていると、常に情報を収集できるのではないかと。

(浜田委員)4ページにあるスポーツ実施率は、目標値に達することは難しいのではないかと。私自身も、野球や高校バレーをしていたが、60歳過ぎて全て引退した。今は簡単なゴルフとか気軽に行える競技をしている。各校区には体育振興会がある。また、地域では卓球大会などを開催していて、参加した方はとても面白かったと感想をいただく。環境が大切であるが、現状はつぶれていくクラブも多い。年齢などが理由となることが多い。参加する層は、20代や30代は少ない、一方で40代は子どもも中学生ぐらいになり時間に余裕ができ、参加する人が多くなる。卓球など気軽にできるスポーツは、60代から80代が多い。年齢に応じたスポーツの取組が大切。

そこで、今後駅前開発やアリーナなど、スポーツができる環境をつくるのが重要である。コロナ後に急にスポーツを実施する人が増えるとは思えない。

(事務局)アンケート結果でも、「ウォーキング」など気軽にできる競技が多かった。

(西邨委員)13ページの「R3運動能力等調査」は、他の表記方法と合わせて、「令和3年度運動能力等調査」と修正をお願いします。今回のアンケート結果は、我々スポーツ協会としてもとても関心のあるデータだと思っている。「スポーツが嫌い」と回答している人を、どう好きにさせるのか、逆の発想が大切である。

(田川委員)先日、ひらかたパークで開催されたイベントに参加した。中西麻耶さんの講演会を目的に行ったが、少し早く着いたためシッティングバレーや車いすソフトボールなどの体験会にも参加してきた。参加者を見てみると、個人参加よりも野球チームなど団体で参加している人が多かったように感じた。これらの情報をどこで収集するかというと、私はLINEを登録しており、そこから情報を集めることが多い。広報誌は自分の興味がある分野しか見ない。後、ポスターなどを見ることも多いので、費用などはかかるが、ポスターなどを色々な場所に貼っていくことが必要である。

(高見会長)田川委員は、パラリンピック後、パラリンピックのレガシーなどを感じることはあるか。

(田川委員)私は他市で水泳をしているが、パラリンピック後に「パラリンピックを見たから」と

いう理由で水泳に参加した方はいなかった。パラリンピックを観て、パラスポーツに興味を持たれても、パラスポーツを「する」ことにはつなげていない。

(草部委員) スポーツ推進委員のアンケート結果をみたが、推進委員のなり手がいないと回答した割合が高かった。各校区に1人推進委員を選出となっているが、実際何校区かは、なり手がいない。また、推進委員の認知度が低い結果となっているが、推進委員の活動は、推進委員としてではなく、コミュニティとして行うことになるため、推進委員の認知度が低い結果となる。それは仕方がないかなと考えている。今後、認知度を上げていかなければならない。

(浜田委員) うちの校区でも、シッティングバレーについて推進委員の指導を受けた。ここ5年ぐらい、各校区で推進委員の指導を受ける機会が増えている。

(草部委員) 備品なども整理し、使えるものと使えないものをきれいにした。遊び方みたいなものをまとめようと思っている。

(高見会長) 市民の方がスポーツをしている中に、ティアモの選手が混じるなどあってもよいのではないか。

(伊原委員) やはり実施率の目標値が高いと感じるが、できるだけ近づけることがこの審議会の役目ではないかと考える。実施している競技として、上位5位までの競技は、ウォーキングなど1人で行えるスポーツとなっている。なので、1人で行えるスポーツにターゲットをしばり、例えばウォーキングなど1人でできる競技を実施する人を増やしていく取組を行っていくべきである。既に実施しているかもしれないが、「ウォーキングのまち枚方」として、歩くとポイントがたまるなど、マラソン大会はあると思うが、ウォーキング大会などを実施してはどうか。

現状、スポーツイベントなどは他と比べて実施回数が少ないのか。それとも、イベントは実施しているが参加者が少ないのか。

(事務局) スポーツイベントはいろいろ実施している。どういった内容が参加者に刺さるのかといった分析まではできていない。

(西邨委員) 車椅子イベントについてもPRはかなり行ったつもりだが、集客に繋がらない。こうだからという理由がない。ただ、会場が交通の便が悪いと、本当に興味がある人、元々スポーツをしている人しか集まらない。その方々は、になる。交通アクセスのよい場所で行うのが良い。なので、一昨年から企画を行い、先日25日に駅前のニッパークでイベントを実施予定であった。

また、一過性のものにならないように、相談コーナーを設けて、イベント参加者が今後、その競技を続けていけるように考えていた。

無料だとたくさんの方が来てもらえるようなイベントは実施しにくく、費用対効果で、ある程度費用がかかってくる。色々なハードルがある。

(谷口委員) 市は、ノルディックウォーキングやコースを設定したウォーキングイベントなどを実施していると思う。

(事務局) イベントはいろいろ実施しているが、イベントが一過性のものにならないように、スポーツを習慣化できるような工夫が必要である。

(関委員) 横のつながりが大切である。親子、子どもと老人など。複合的にしていくことが必要。

(浜田委員)大阪府営の山田池公園などで、市がイベントを行うことはあるのか。

(事務局)推進委員による、ライフ・チャレンジ・ザ・ウォークを毎年実施している。

(村島委員)今の話でもやはり知らないことが問題であるので、年間のスポーツイベントがわかるページが必要である。

(浜田委員)そういったカレンダーなどを校区に回覧などしてはどうか。

(高見会長)第2章については、以上でよろしいでしょうか。

3. 中間評価報告書(案)について 3章

(高見会長)それでは「案件(3) 中間評価報告書(案)について」の3章につきまして、事務局よりお願いします。

(事務局)

《案件(3)中間評価報告書(案)について 3章》説明

(高見委員)意見等ございませんでしょうか。ないようですので、第3章については、事務局の説明のとおり進めてください。

それでは、全体を通して、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。木村委員、お願いします。

(木村委員)DXの推進とあるが、ひらポなどいろいろ取組みをしている。健康とスポーツを掛け合わせる必要があるとあり、前にも言ったがこの審議会に、医師会の先生が委員として入ってはどうか。運動は薬であるという言葉もある。医者が患者に「スポーツをするように」とだけ言うのではなく、どこでスポーツができるのかまで情報提供していくことがミッションである。

医者から言われると、やらなければならないという動機づけになる。今回の情報を、どこかで医師会に提供してはどうか。

(高見会長)それでは、以上の審議をもちまして本審議会の決定事項とさせていただき、審議会で出された意見を踏まえて計画を推進するよう、付帯意見を付して答申を行いたいと思えます。これにご異議ございませんでしょうか。ただいま申し上げたとおり、決定します。

4. 答申について

(事務局)それでは、答申につきましては、高見会長から観光にぎわい部の野田部長へ答申書のお渡しをお願いしたいと思います。それでは、高見会長、野田部長、前のほうにお越しく下さい。なお、今後の記録のため、写真を撮影させていただきますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

それでは、高見会長 よろしく願いいたします。

《高見会長より野田部長へ答申を行う》

(事務局)ただいま答申をいただきました。委員の皆様、ありがとうございました。それでは、高見会長、野田部長お席にお戻りください。答申書については、これから皆様のお手元に配付をさせていただきます。本日、いただきました答申書をもとに最終版として、4月に庁内委員会に諮り、議会への報告及びホームページへ公開していく予定にしております。どうぞよろしくお願いいたします。

(高見会長)それでは、「案件(5)その他」 について、事務局より何かございますでしょうか

(事務局)はい、委員の皆様任期につきましてですが、本日令和5年3月31日までとなっています。4月以降につきましては、審議会開催の日程に合わせて、新たに就任依頼の手続きをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(高見会長) そのほか、事務局から連絡事項等がありますでしょうか。

(事務局) 本日の審議会の会議録ですが、完成次第、郵送やメール等で送付させていただき、ご確認をお願いしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(高見会長) それでは、本日無事に答申を行うことができました。これも、一重に委員の皆様の精力的なご審議の賜物だと思います。ありがとうございました。計画をいかに実行に移していくかという中で、市民の皆様のご意見というのが大切であり、審議会というのは大きな柱を決めていくことになる。審議会とは別に、団体の皆様が同じテーマで席につくのも良いと思う。フォーラムなどを開くのも良いのではないか。スポーツを通じてまちを活性化させていくことについて、是非今後とも皆様のご協力をいただければと思います。

さて、私ごとになりますが、3月をもちまして今勤めています大学を退職しまして、地元に戻ります。審議会の会長をお受けできないことになり、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、これもちまして令和4年度第3回枚方市スポーツ推進審議会を閉会とします。